

〔表2〕平成8年度資料の受入状況

(単位：冊)

区 分	購 入	寄贈・他	計
一 般 資 料	7,070	1,130	8,200
郷土・行政資料	771	992	1,763
児 童 図 書	761	404	1,165
児童図書研究室資料	795	2,291	3,086
館 外 用 図 書	4,029	1,629	5,658
計	13,426	6,446	19,872

第2節 資料の収集・整理

県民の資料に対する要求も年々多様化・専門化の傾向が顕著になってきているため、それぞれの分野でよりきめの細かな収集に努めた。

1 図書館資料の収集

(1) 一般資料の収集

昨年度に引き続き、人文科学・社会科学・自然科学それぞれの部門で参考図書の充実に努めた。また、各部門とも専門分野における基本資料の整備に努めた。

(2) 郷土資料の収集

郷土関係の文献・雑誌と県人著作の網羅的な収集に努めた。本年度は特に、県内市町村で策定した高齢者保健福祉計画書の収集を計った。また、「福島県E.L新聞記事情報リスト」等の郷土参考図書も充実させた。

(3) 視聴覚資料の収集

いわき市出身の指揮者小林研一郎のCDや、会津盆地を舞台とした映画「惜春鳥」のビデオテープなど、本県関係のものを中心に収集を進めた。

(4) 児童図書・研究図書の収集

児童及び児童図書を研究する利用者のために、児童書では、子供たちに読んでほしいと願った図書・課題図書・各種受賞図書・教科書に取り上げられている作品の原書及び郷土出身作家・画家の図書を中心に収集した。

研究資料については、児童文学や絵本についての作家論・作品論を中心に収集した。復刻書、雑誌も昨年に引き続き収集した。

(5) 逐次刊行物の収集と整備

利用者の多様な要望に対応すべく、各分野の定評ある雑誌を収集すると共に、今年度も文学関係雑誌の復刻版を収集し、資料の充実を図った。

新聞については、地元紙、中央紙の収集保存に努め、特に今年度は、福島新聞の明治期と地元紙のマイクロフィルム化により、汚・破損防止に努めると共に、郷土関係連載記事のクリッピング等によって利用者の利便を図った。

〔表1〕平成8年度逐次刊行物受入整理状況

(単位：種)

区 分	購 入	寄 贈	計
新 聞	22	59	81
雑 誌	210	918	1,128
官 報 等	3	—	3
計	235	977	1,212

第3節 館内奉仕

直接来館あるいは電話や文書による県民の資料・情報要求が多く寄せられている。

内容的にも、ここ数年来の多様化、専門化の傾向はますます顕著になっているので、資料の充実とともに利用環境の整備にも努力した。

1 調査相談

当館に情報や情報源の調査を求める利用者は、本年度も持続して増加した。これらの要求に可能な限り応えるために、参考資料の整備はもとより各専門機関との連携、レファレンスツールの充実、担当職員の情報運用力の向上などサービス体制の強化に努めた。

その結果は総件数10,268件であった。

〔表3〕記録された参考質問の分析

(単位：件)

区分	郷土資料	一 般			逐次刊行物	小計	児童	計
		人文	社会	自然				
口頭	1,661	1,910	1,389	819	780	6,559	331	6,890
電話	909	1,349	353	295	213	3,119	62	3,181
文書	112	6	18	42	19	197	0	197
計	2,682	3,265	1,760	1,156	1,012	9,875	393	10,268
			6,181					

2 館内奉仕

約14万2千冊の開架図書をはじめ全蔵書が容易に、そして自由で快適な環境のもとに閲覧できるよう、案内・表示の工夫や的確な利用者対応に留意した。

また、利用者の図書館要求を把握し、できるだけそれらを運営に反映させるために努力した。